

札幌市立大谷地小学校

令和8年度 全国学力・学習状況調査の結果について

令和8年4月23日(木)、6年生を対象に「令和8年度全国学力・学習状況調査」を実施いたしました。過日、札幌市教育委員会より市立小中学校分の調査の結果が発表されました。本校でも、調査の結果を分析し、課題及び改善の方向を検討し、結果をまとめましたのでお知らせいたします。

《小学校国語科》

本校の概要

【領域】

- 「話すこと・聞くこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- 「書くこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- 「読むこと」
 - ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。
- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」
 - ・全国平均と同程度であるが、やや上回る。
- 「情報の扱い方に関する事項」
 - ・全国平均とほぼ同程度。

今回の調査における課題

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。
- 引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
- 目的に応じて必要な情報を見付けること。
- 比喻や反復などの表現の工夫に気付くこと。
- 情報と情報の関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

改善の方向

- 話し合いや発表の場において、資料を活用するなどして自分の考えが伝わるように表現を工夫する学習の充実を図る。
- 文章中から自分の考えに合うものを選んだり、自分の考えを書き表したりする学習の充実を図る。
- 文章中から目的に合う情報を読み取る学習の充実を図る。
- 物語文などを読み、表現の効果に着目することや、読書活動の充実を図る。
- 総合的な学習の時間なども活用し、情報を整理する学習の充実を図る。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 □「数と計算」 ・ 全国平均をやや下回る。 □「図形」 ・ 全国平均をやや下回る。 □「変化と関係」 ・ 全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回る。 □「データの活用」 ・ 全国平均をやや下回る。	●基準量、比較量、割合の関係を理解している。 ●体積の意味について理解している。 ●百分率で表された割合と比較量から、基準量を求めることができる。 ●日常生活の問題を解決するために、示された条件を基に調べたい数量の求め方を数や言葉をを用いて記述できる。 ●表から条件に合う数を読み取ることができる。	○割合の意味理解を深める学習の充実を図る。 ○立方体や直方体の体積の求め方の理解や体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考え学習の充実を図る。 ○異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を考える学習の充実を図る。 ○いろいろな項目の表やグラフに触れ、そこから読み取ったことを表現する学習の充実を図る。

【学習状況調査】

全国と比較して、肯定的な回答

○学校に行くのは楽しいと思いますか。

学校に対して肯定的な気持ちを持ち続けられるよう、これからも子どもたちがそれぞれもつ力を発揮できる環境を整えていく。

○学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

家庭での学校や学習に関する対話が学習意欲向上に繋がっていると感じられる。「まほうのかいわ」も活用しながら、今後も家庭との連携を図っていく。

○算数の勉強は好きですか。

「算数の授業の内容はよく分かる」、「図や数直線など図が示された問題で、解くときに図が役に立った」に対しても肯定的な回答が多かった。今後も、一人ひとりの特性や進度に合わせた学びや友達との協働的な学び、指導の充実を図っていく。

全国と比較して、否定的な回答

●毎日、同じくらいの時間に起きていますか。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」の肯定的な回答も少なかったことから、今後も家庭と連携しながら生活リズムを整えることの大切さについて伝えていく。

●昼休みや放課後に、本を読んだり借りたりするために、学校図書館にどれくらい行きますか。

本校では、毎日体を動かしグラウンドや体育館で友達と一緒に元気に遊ぶ児童が多い。朝読書の時間も活用しながら読書活動の充実も図っていく。

●授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

主体的・対話的で深い学びや協働的な学びの中で、自己解決したり友達とのやり取りの中で解決したりする場面を今後も取り入れていく。